



新社屋は、建築環境総合性能評価システム (CASBEE) においてAランク以上と評価されています



東京都港区

今回の訪問先

八洲電機株式会社



東京・新橋に建つ、八洲電機のクリエイティブオフィスビル

新社屋の完成を機に ワークスタイルの変革を推進



ブランドのシンボルとなるロゴは、全社員の投票によって決定したもの。「信用・信頼・誠実」を表すブルーの文字に、情熱を表すレッドの円環を重ねることで、創業以来築き上げてきた伝統とスタイルを継承しつつも、常に未来を見据えた姿勢を表現しています

今年、創立70周年を迎えた八洲電機株式会社(以下、八洲電機)は、高い技術力を誇るエンジニアリング企業として、プラント・社会インフラ・産業システム分野を中心に幅広い製品・ソリューションを提供しています。近年はマイクロ水力発電システムやバイオガス発電システムといった再生可能エネルギーに関わるソリューションの提案・提供にも力を注いでいます。

八洲電機は、電気制御システムをはじめ、環境システム・交通システム・情報システム・エネルギーシステムといったコア技術を強みとし、その特長は高い技術力に加え、各産業分野の大手企業を中心としたお客さま基盤を堅持していることや、お客さまの事業所などに駐在する密着営業を展開していることです。この「コーポレートイン」スタイルによって八洲電機は着実

に成長を続けてきました。

2016年4月からスタートした第14次中期経営計画では、ソリューション・エンジニアリング力の強化、ビジネスネットワークによるビジネスチャンスの拡大、グループ会社の収益力強化と事業領域拡大の三つを重点施策として掲げています。

創立70周年にあたる本年度は、運動会や記念式典の開催のほか、東日本大震災復興支援ボランティア活動や国境なき医師団日本などへの寄付をはじめとするさまざまな取り組みを行っています。また、2016年9月に、新本社ビルを完成させました。新社屋の

完成にあたり、フレキシブルなワークスタイルやペーパーレスの実現、八洲電機のブランド発信という施策を推進しています。

具体的には、全館に無線LANを導入し、事務所内のさまざまな場所での業務を可能としています。集中力を高めるなどの理由から、多目的スペースであるブレイクエリアで仕事をしている社員も少なくありません。こうしたワークスタイルの変革は、コミュニケーションやコラボレーションの促進を意図したものの。一方、ペーパーレス推進では、スマート化によってコスト削減、リスク低減を図ることをねらっています。

さらに、優れた環境・省エネルギー設備を多数導入し、新本社ビル自体を自社のショールームとしています。加えて、食糧の備蓄・非常用発電機の設置・雨水再利用といった防災への準備を行うなど、BCP(事業継続計画)対策の充実のほか、2階にPRコーナーを設けるなど、社内外への情報発信を強化し、ブランド力のさらなる向上をめざしています。

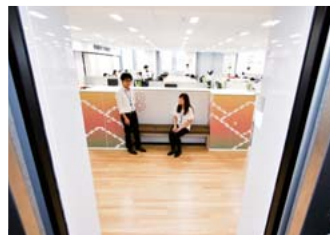
創立70周年を機に、数々の施策を打ち出している八洲電機。今後もお客さまに適した環境・省エネルギー関連の製品・ソリューションの提供を通じて、環境配慮型社会に貢献していきます。



社員が思い思いに使用するブレイクエリアは、コミュニケーションをコンセプトに設計された新社屋の象徴となっています



PRコーナーでは、デジタルサイネージを活用して八洲電機の歴史・事業セグメント、CSRの3つの観点から情報発信を行っています



コミュニケーションを促すというコンセプトに基づき、エレベーターが開くとすぐに執務室が広がる設計にしています

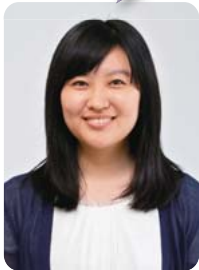


創立70周年記念事業として、パレスホテル東京にて、日立製作所 東原執行役社長のほか、多数の方のご臨席のもと、お客さまへの「感謝の集い」を催しました



私たちの職場周辺はこんなところですよ!

レトロな駅舎には
レストランも
併設されています!



総務部 総務一課
木村 紗栄さん

当社の本社ビルがある新橋は、鉄道発祥の地として知られています。2003年、往時の駅舎が再現され、旧新橋停車場がオープンしました。プラットホームの遺構があるほか、よみがえったレトロな駅舎の中には、鉄道の歴史などを紹介する鉄道歴史展示室も設けられています。近未来的なビルが建ち並ぶなか、明治時代にタイムスリップしたような、ちょっと不思議なスポットですよ。



拠点 DATA

八洲電機株式会社

所在地 東京都港区新橋三丁目1番1号
創立 1946年8月8日
事業内容 電気機械器具部分品の製造、修理、販売、
建設工事一式の設計、施工、監理など

<http://www.yashimadenki.co.jp/>



「働き方変革や地域貢献など
直面する課題に向き合い、
社会的貢献を果たしていきます」



創立70周年を迎える節目の年に、当社は新本社ビルの建て替えを行いました。中期経営計画では、ワークスタイルの変革も重要施策の一つであり、総務部門としては、その実現のために鋭意取り組んでいるところです。将来的には、育児・介護も視野に入れた在宅勤務制度をも検討していますが、まずは社員の意識改革を進めています。また、新社屋は地域の防災拠点としての役割も担っており、社員分を含めて6,300食分の食糧を備蓄しています。当社は、事業活動はもちろん、社会貢献活動においても企業の社会的責任を果たすとともに、「全社員が身近に感じ成長し続けるマザーオフィス」づくりを推進していきます。



執行役員 総務本部長 三浦 達也さん